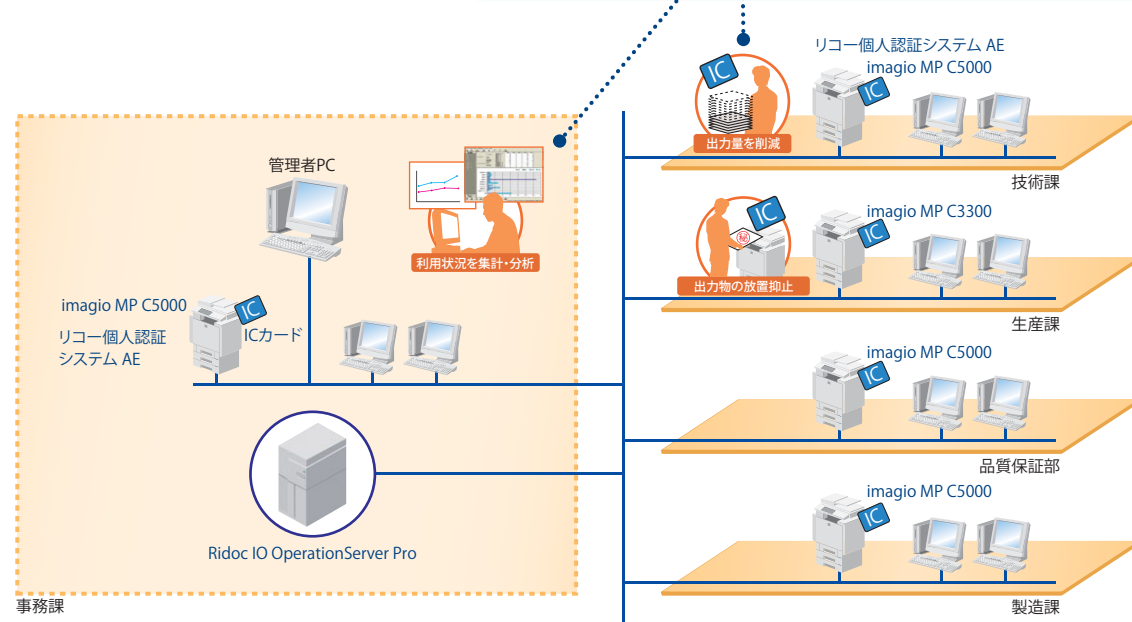




リンテック様 システム環境イメージ



Operius 製品のご紹介

Operius Core ハードウェア	Operius Ware ソフトウェア
<p>ネットワーク対応コピー/ファクス/プリンター/スキャナー デジタルフルカラー複合機 imagio MP C5000 ビジネスをクオリティで彩り、より速く、より自由に、より効率よく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高生産性...ファストコピー モノクロ 3.5秒以下*、フルカラー 5.9秒以下* ●連続コピー フルカラー・モノクロ50枚/分* *A4ヨコ ●使いやすい大型フルカラータッチパネル ●カラーQSU技術でスピードアップ & 省エネを実現 ●セキュリティ...個人認証、ファクス番号宛先の繰り返し入力、不正コピーガード 	<p>imagio/PSiO対応ICカード認証システム <拡張版> リコー 個人認証システム AE ICカード認証によるセキュリティ環境を、ニーズに合わせて自在に構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オンデマンド印刷...印刷物の置き忘れなどによる情報漏えい抑止、無駄な印刷の削減 ●利用者制限...機器利用をICカード所有者に限定、個人ごとに機能を制限 <p>出力機器(マルチベンダー)管理を基盤としたトータルログ管理サーバー Ridoc IO OperationServer Pro ログ収集により、利用枚数情報を利用者・部門・機器ごとに集計・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ログ収集...5種類のログを収集し、様々な角度から検討可能 ●ログ集計...ログ情報を元に印刷に関わる状況をあらゆる視点で集計・分析 ●カウンター制限...出力枚数が上限を超えたユーザーの機器の利用を制限 ●インストールサポート機能...ドライバ設定など、インストールパッケージの配布環境を提供 ●出力機器管理...ネットワーク上の機器を把握、グループごとの区分けや機器の一括設定などが可能

*※社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

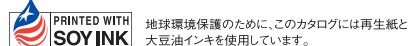
株式会社リコー 東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/operius>

お客様相談センター リコー製品に関するお問い合わせは「お客様相談センター」で承っております。フリーダイヤルでお気軽にどうぞ。

FreeDial 0120-000-475
●受付時間:平日(月~金)9時~18時/土曜日9時~12時、13時~17時(日、祝祭日、弊社休業日を除く) *通話料は無料です。*音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュボタンでお知らせください。*通話料が掛らない電話機でお掛けの場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。*対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音をさせていただいております。

FreeDial FAX 0120-479-417
●ファクシミリによるお問い合わせも承っております。
●リコーにご提供いただいたお客様の個人情報の取り扱い方針については、当社ホームページでご確認いただけます。



●お問い合わせ・ご用命は...

このカタログの記載内容は、2009年6月現在のものです。

- 無駄な経費の削減
- セキュリティ 個人情報保護
- 業務効率/品質向上

"ワークスタイルの変革"により、経営課題をこう解決。

Operius Reports

次世代製品に注力するために、ICカードによる無駄の見える化でコスト削減

営業・研究・工場部門が三位一体になって、あらゆる無駄を削減しながら、社会に役立ち競争力をもたらす次世代製品の研究・開発に注力する。リンテック吾妻工場様の利益創出への取り組みの一端に、リコーのシステムが活用されている。



半導体パッケージの薄型・小型・高集積化に寄与する特殊粘着テープ「Adwillシリーズ」半導体の製造プロセスや実装・積層プロセスに革新をもたらす、画期的な特殊粘着テープ。



複合技術集団のトップランナーとして、最先端製品を開発・製造

リンテック株式会社 吾妻工場 様

企業概要



吾妻工場 群馬県吾妻郡東吾妻町大字川戸150 (本社 東京都板橋区本町23-23)
代表者 代表取締役社長 大内 昭彦
吾妻工場工場長 狐塚 昌己
設立 1934年10月15日
資本金 2,320,130万円
従業員数 連結3,802名、単体2,479名 (吾妻工場 266名) ※2008年3月31日現在

「至誠と創造」を社是とし、人と人、技術と技術の融合による新しい付加価値を生み出す複合技術集団として、リンテック様は粘着素材をはじめとする様々な製品を世に送り出している。中でも吾妻工場様では、半導体パッケージの薄型・小型・高集積化に寄与する特殊粘着テープ「Adwill(アドウィル)シリーズ」、液晶ディスプレイ用フィルムなどの光学関連製品、電子部品製造用コートフィルムといった、最先端の製品の開発・製造を手がけている。さらに同社では、次世代に向けたヘルスケア製品として、痛みや出血がなく簡単にワクチンの接種ができる「ワクチン投与キット」用の粘着テープの研究・開発を進めており、パンデミック(インフルエンザ大流行)対策として期待されている。

●事業内容 印刷・情報関連製品、産業材・工業材関連製品、建築材関連製品、電子・情報通信関連製品、光学関連製品、ヘルスケア関連製品、特殊紙、加工紙・加工フィルム など(吾妻工場では、主として半導体・光学・電子部品関連などの製品開発・製造)

無駄の「見える化」でコスト意識が高まり、 セキュリティ強化も見えてきた。

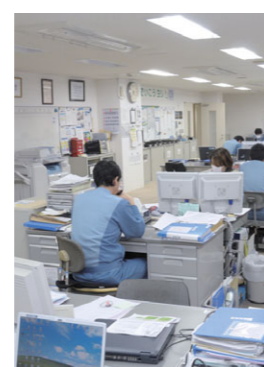
見えにくい無駄を 短期間で見通すために

リンテック吾妻工場様では、「利益の出る工場」をめざし、営業部門・研究部門・工場が三位一体となったプロジェクトに取り組んでいる。固定費や消耗品などの無駄を徹底的に削減し、今後ニーズが高まる各種新製品の開発・製造に注力していく。

その中で、工場事務課では、紙などの消耗品の削減が大きな課題となっていた。工場内では大量の紙書類が発生する。品質検査や出荷の工程での書類は特に多いという。しかし品質検査書などは製品へ必ず添付しなければならず、そういった品質やサービスに関わる書類は、一概に削減することはできない。そのため、どのような目的で誰が何枚出力しているのかを把握しないと、本当に必要なものなのか判断ができなかった。

事務課では来期の改善目標策定のため、まず、複合機の使用状況を早く効率的に把握し、無駄の「見える化」を行う必要があった。

その方法を探している時にリコーから提案されたのが、個人認証による複合機の出力管理システムである。しかし、新しいシステムを取り入れて逆に現場の業務に支障が出るようでは、本末転倒となってしまう懸念もあった。



製造工程では、多くの書類が必要となる

テスト運用により「見える化」を 実証し、導入・本運用へ

ICカードを利用して複合機の個人認証を行うことで、必要な文書だけを出力するオンデマンド印刷が可能になる。また、さまざまなログ管理や集計・分析、利用制限ができる。このシステ

ムが無駄削減のカギを握ると思えたが、実際に現場でスムーズに利用できるかどうかという不安もあった。そこでリコーに相談し、このシステムを一定期間、貸し出しを受けて試用してみることにした。

こうしてリコーの複合機imagio、ICカード個人認証システムとログ管理システムRidoc IO OperationServer Proのテスト運用が始まった。実際に使ってみたところ、その使いやすさを実感し、業務に支障なく複合機の使用状況を把握できることが確かめられた。予想通りの導入効果が得られるとわかって、これが決め手となり、短期間での導入・本運用が実現することとなった。



ICカードによる個人認証出力

テスト運用で、使い勝手の良さを
実感できました。



事務課 経理・電算グループ 主任 勝間田 幸彦 様

個人認証を行いログを取る「見える化」は必要に思えたのですが、導入によって現場の業務が滞り、今まで20分でできた仕事が30分かかるということでは本末転倒です。実体験してみたいと考え、リコーさんからシステムを貸してもらい試用してみたところ、業務に支障もなく社内でも好評でした。やはり使った「実感」がポイントでしたね。

導入当初からコピー、ファクス、プリンター、スキャナーのすべての機能でシステムを運用し、機能の制限などは行わずに、まずは来期の削減目標を立てるためのデータを収集。また、社員には「見ている」と「制限もあり得る」ことをアピールして、意識向上を促していった。

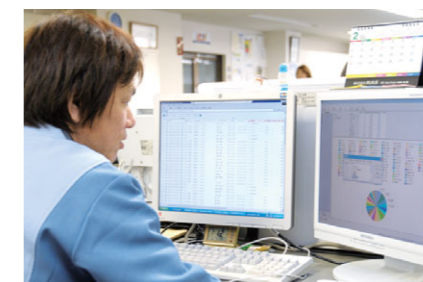
他社の機器からの入れ替えで、機能や利用方法が従来と変わった点もあり、社員に多少のとまどいもあった。その度に問い合わせに答え、説明する努力を積み重ねることで新システムが現場に定着し、操作方法の質問も少なくなった。導入当初に見られた、個人名などでデータが集計されることへの心理的抵抗も、次第に薄れつつある。

コスト意識向上に成果 次はセキュリティ対策へ

成果はさまざまな形で現れている。数カ月間の運用で、出力量が減り、それにともない消耗品や文書保管量が目に見えて減少した。これには、無駄な出力を行わずにすむ「オンデマンド印刷」の効果があつた。例えば、プリンタードライバーをインストールした時に行うテスト印刷などは、複合機の操作パネル上で確認すれば、紙で出力する必要がなくなった。

社員にも、複合機を利用する度にICカードをかざすことで、利用状況を「見られている」意識が生まれた。出力が必要な書類は、複数ページを1枚にまとめる「集約印刷」で枚数を減らす、フルカラーの代わりにモノクロと同コストの「2色コピー」を活用するといった工夫が、随所で見られるようになった。システム導入により、コスト意識が現場に自然に浸透した結果といえる。

これらの削減効果に加え、事務課では今後、蓄積された複合機の利用状況を集計・分析し、さらなるコスト削減への対策を立てていく。



複合機の使用状況を「見える化」

また、ICカードを持った本人が複合機まで行かないと出力ができないため、出力した紙文書の放置がなくなり、セキュリティ面での効果もあった。

技術を基盤とする企業として、また次世代製品の開発にあたり、リンテック様では今まで以上にセキュリティを重視し、内部統制や情報セ

キュリティのいっそうの強化に取り組んでいる。その中で、吾妻工場様でもさまざまなセキュリティ対策を計画しているが、このシステムを紙書類からの情報漏えい抑止のために、工場全体で活用していく方針だという。

重要書類の置き忘れがなくなったメリットを、
他にも活かしたいですね。



事務課長 小原 健 様

利益を出せるものづくりのために、ひとつひとつ営業部門などと切磋琢磨しながら進めています。社員への意識づけが一番重要なので、まずはコスト意識という点で今回のシステム導入は効果がありました。

これからはセキュリティ面での活用も進めていきたいと思っています。個人情報保護法もありますし、人事管理の書類などの複合機への置き忘れがなくなったのは大きい。そんなメリットを開発・製造工程など工場全体で活かせるよう、取り組み始めているところです。

今後は、個人認証でどこでも近くの複合機から出力できる「LF（ロケーションフリー）印刷」の利用も検討している。会議などで広い工場内をノートPCを持って移動する時、出力のためにいちいち自分の席に戻る必要がなくなり、業務の効率化の面でも期待を寄せている。

短期間での無駄の「見える化」から社員のコスト意識向上、そしてセキュリティ強化と効率化へ。吾妻工場様では、このシステムのさらなる展開を構想している。

〈導入システム〉
imagio MP C5000 ×4台
imagio MP C3300 ×1台
リコー 個人認証システム AE
Ridoc IO OperationServer Pro

課題

経営課題
利益創出ができる工場をめざし、
次世代製品開発の基盤づくりとして
徹底的に無駄を削減

業務課題
紙出力の無駄の「見える化」と
コスト意識の変革

- 紙の使用量を減らし、消耗品のコストを削減する
- 紙の出力状況などを把握し、有効な対策を立てる
- 短期間で社員のコスト意識を向上させる

導入

解決策
ICカードを活用し、
複合機の個人認証を行う
出力環境を構築

- 出力状況の集計・分析で、現状把握と目標値策定を行う
- オンデマンド印刷により、出力量を削減する
- ログ収集をすることで、社員のコスト意識を向上する

結果

運用
まずは使用状況の把握と
無理なく定着させることに注力

- 機能制限を行わずに、現状の使用状況データを収集する
- ログを取っていることを社員にアピールし、意識づけを行う
- 従来機器と異なる操作方法などを、フォローしながら理解を得る

効果
出力量が削減され、コスト意識も浸透
さらにセキュリティにも効果

- 短期間で紙使用量が削減された
- 改善目標策定のための現状データが、蓄積されてきた
- 機密書類などの出力文書の放置が抑制された

今後の展望
分析によりさらにコスト削減効果を上げ、
セキュリティ強化などにも活用

- 利用状況を分析し、機能を活用して有効な対策を立てる
- 出力文書の放置抑止により、セキュリティを強化する
- 「LF（ロケーションフリー）印刷」などによる業務効率向上を図る